旅行大手JTB（東京都品川区東品川）は十四日から、首都圏で初の水陸両用バスを使った東京湾観光ツアーを開始する。ツアーは十月十四日までで、ホームページで販売している。

今年3月の無料社会実験で、レインボーブリッジのそばを運行する水陸両用バス＝JTB提供

東京湾 バスぷかり

水陸両用 ツアーあす開始

バスは国産の四十人乗りで、高さ三・七㍍。窓ガラスがないので開放感にあふれる。陸路でお台場からレインボーブリッジを渡り、対岸で東京湾に入る。水上からレインボーブリッジや東京スカイツリーを眺めることができ、最終便は夕景も楽しめる。ツアー時間は一時間半。

九月二日までは、お台場の「船の科学館」発着。午前十時発から午後六時発まで一日五便運行する。翌日以降は、浜松町バスターミナル乗車で一日四便となる予定。

水陸両用バスは大阪や仙台などでも運行している。お台場周辺では、三月下旬～四月上旬に実験的に無料運行し、好評だった。

今回の有料ツアーも「東京湾の水辺活性化」社会実験の一環。特定非営利活動法人日本水陸両用車協会（港区三田）、はとバス（大田区平和島）が協力している。JTBの担当者は「東京の新しい観光として期待しています」と話す。

料金は大人三千五百円、小学生以下の子供二千三百円、三歳未満五百円。予約はJTBホームページから「JTB東京ダックツアー」で検索する。

2012/07/13 東京新聞 夕刊